



●乳幼児健康診査・健康相談

【受付時間】 ☆印…午前9時30分～10時20分、★印…午後1時～1時50分

※対象者には通知します。

内 容	対象となる人（お住まいの地域）	日 程	会 場
★3～4か月児健康診査	平成23年2月生まれ（本庄地域）	6月22日(水)	本庄市保健センター
	平成23年2月～3月生まれ（児玉地域）	7月21日(水)	児玉保健センター
☆9～10か月児健康相談	平成22年8月生まれ（市内全域）	6月22日(水)	本庄市保健センター
★1歳6か月児健康診査	平成21年11月生まれ（本庄地域）	6月20日(月)	本庄市保健センター
	平成21年11月～12月生まれ（児玉地域）	7月20日(水)	児玉保健センター
☆2歳児健康相談	平成21年5月生まれ（市内全域）	6月21日(火)	本庄市保健センター
★3歳児健康診査	平成20年5月生まれ（本庄地域）	6月21日(火)	本庄市保健センター
	平成20年5月～6月生まれ（児玉地域）	7月19日(火)	児玉保健センター

●育児相談・学級

【会場】本庄市保健センター

※電話による育児相談は随時受け付けています。各相談・教室の予約は、本庄市保健センター(☎2003)へ。

内 容	対象となる人	日 時	その他	
すくすく相談 (育児・栄養相談、計測)	相談・計測希望の人	6月24日(金) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
母乳相談	母乳のことで相談がある人	6月24日(金) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
おや親タマゴ	マタニティ エクササイズ	これからママになる人	6月8日(水) 午前10時～正午	先着20人。事前に電話予約してください。
	母乳・沐浴	これからママ・パパになる人	7月9日(土) 午前9時30分～正午	先着20組。事前に電話予約してください。
	栄養	これからママになる人	7月28日(水) 午前9時30分～正午	先着12人。事前に電話予約してください。

休 日 急 患 の 診 療

●本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所（日曜・祝日開設） （本庄市保健センター内 ☎3322）

診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時

診療科目 内科系疾患

※健康保険証を持参してください。

●在宅当番医療機関

診療は午前中のみです。当番医は変更になる場合もありますので、確認してからお出かけください。

6月5日(日)	うめだクリニック	美里町広木	☎764151
6月12日(日)	黒岩整形外科医院	上里町七本木	☎340551
6月19日(日)	小林クリニック	朝日町2丁目	☎233371
6月26日(日)	恵南クリニック	見福2丁目	☎240008
7月3日(日)	したら眼科クリニック	上里町金久保	☎338333
7月10日(日)	本庄皮膚科形成外科医院	銀座3丁目	☎223233

ご利用ください！小児救急電話相談「#8000」

休日や夜間のお子さんの急病時にご利用ください。県内であれば、ブッシュ回線の電話や携帯電話から「#8000」を押すとつながります。

（相談料無料・通話料利用者負担）

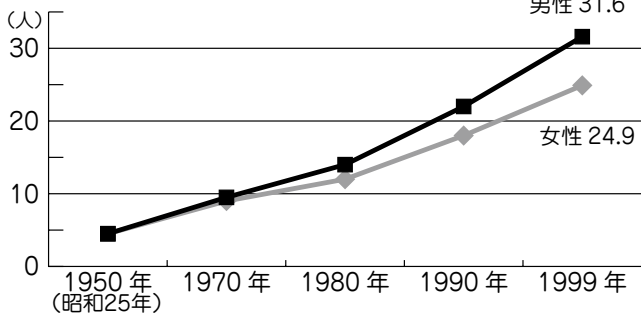
受付時間

・月曜日～土曜日 午後7時～11時

・日曜日、祝日、年末年始 午前9時～午後11時

★119番は、緊急時（火災やけが人など）の受付専用電話番号です。夜間など、時間外に診療可能な病院については、児玉郡市広域消防本部指令課（☎1119）でご案内していますので、ご利用ください。ただし、診療科目によっては、県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

図1 大腸がん死亡率の年次推移（人口10万人対）

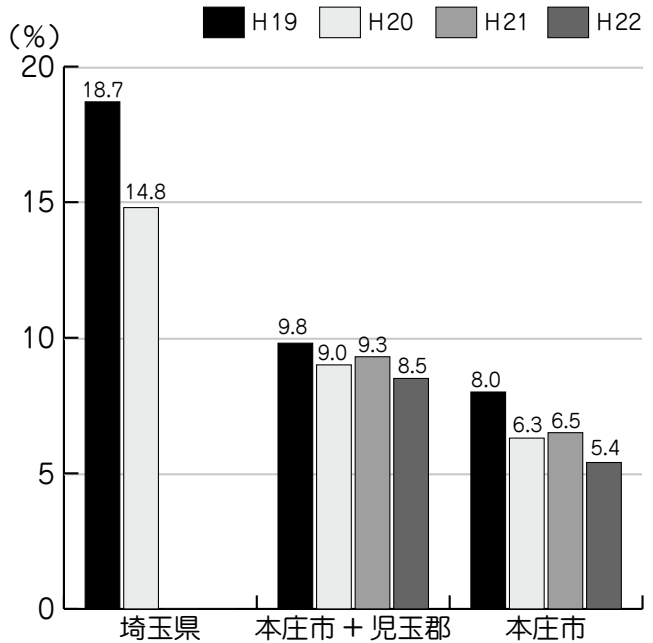


日本における大腸がんの発症は増加が著しく、これに伴い、死亡原因としても、図1に示すように、50年前と比較して7倍という各種がんの中でも、特異的な増加状況となっており、現在、がん死亡の発生部位としては、大腸が女性では第1位、男性でも、肺、胃に次いで第3位となっています。

これに向けての対策として、本庄市では、平成5年から大腸がん検診が導入されました。大腸がんが、出血しやすいという性質を利用して、便の中に混じる血液を測定し、肉眼では分からない程度の一定以上の血液量を認めたものを陽性とし、大腸がんの存在の可能性の高い人を選び出すという事で、やはり胃がんの存在の高危険群を選び出す、ペプシノゲン法による胃がん検診と似ています。何よりも、便を2回採取するだけという極めて負担の少ない方法であり、がん発見の実績も高く、各種がん検診の中でも、最も評価の高いグループに属しています。

大腸がん検診では、全国平均で見ると、受診者1万人のうち15例程度のがんが発見されます。もちろん、大腸で出血しやすい病気は、がんに限らず良性のポリープや諸種の大腸炎、加齢などでも陽性例が見られます。重要なのは、陽性と診断された場合、早くに精密検査を受け、病気の有無と性質を見極めることです。

図2 大腸がん検診年度別受診率



最近では、早期の大腸がんであれば、内視鏡や腹腔鏡を使って、おなかを開かなくても治療が可能となっています。さて、高い効果を有する大腸がん検診ですが、図2に示すように、本庄市児玉郡の受診率の推移をみると、埼玉県全体と比較して低い値となっており、特に本庄市の受診率は極めて低い状況です。

毎年着実に、受診者の中からがんが発見されている事実から、受診率の向上によるがんの早い発見が、大腸がんによる死亡を確実に低下させることは間違いありません。なお、本庄市における平成22年度の受診率低下は、胃がん検診がペプシノゲン法による個別化となつて、集団での大腸がん検診の機会が減ったことも影響している可能性もあると思われ、今後、より簡便な受診環境を作り出すよう検討しています。

本庄市児玉郡内大腸がん検診の結果

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
対象者数	50,541	50,985	51,240	52,178
受診者数	4,952	4,566	4,783	4,418
率	9.8%	9.0%	9.3%	8.5%
要精検者数	251	255	230	218
率	5.1%	5.6%	4.8%	4.9%
精検受診者数	180	168	168	150
率	71.7%	65.9%	73.0%	68.8%
がん発見者数	9	7	5	3
率	0.18%	0.15%	0.10%	0.07%

仕事などで忙しくて受診できないのではなく、健康であればこそ仕事に専念できるといふ考えに立って、今まで大腸がん検診を受診されなかった人も、今年以後ぜひ受診されるようお勧めします。